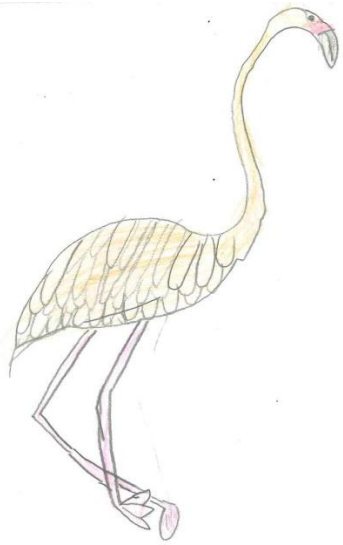
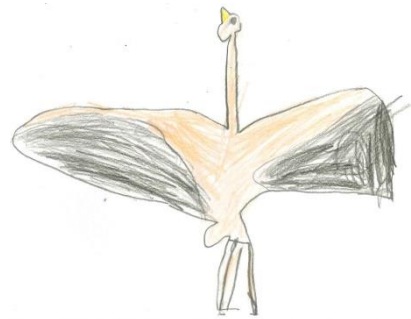


内藤アカデミーの英語教育③英検合格実績(過去10年) 作成：八城房子

年度	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	計
2020 R2		高2 - 1 高1 - 1	中3 - 2	中3 - 6 中2 - 3 小6 - 2 小5 - 1	中2 - 3 中1 - 1 小6 - 2 小5 - 4	中2 - 1  小5 - 2 小4 - 4	高校生 - 2名 中学生 - 16名 小学生 - 15名 33名
2019 R1		高3 - 1 高2 - 4	中3 - 8 中2 - 2	中3 - 6 中2 - 3 小6 - 1	中2 - 1 中1 - 1 小5 - 2	小5 - 2 小4 - 5	高校生 - 5名 中学生 - 21名 小学生 - 10名 36名
2018 H30		高3 - 1 高2 - 3 高2 - 1	高2 - 1 高1 - 3 中3 - 5 中2 - 4	中3 - 7 中2 - 12 小6 - 1	中2 - 11  小6 - 1 小5 - 2	小6 - 1 小5 - 1 小4 - 2	高校生 - 9名 中学生 - 39名 小学生 - 8名 56名
2017 H29	高2 - 1 (第1回二次)	高1 - 3 (第1回二次-2) (第3回二次-1)	高1 - 3 中3 - 6	中3 - 6 中2 - 3	中2 - 6  小6 - 1 小5 - 2	小6 - 4 小5 - 1 小4 - 1	高校生 - 7名 中学生 - 21名 小学生 - 9名 37名
2016 H28	高2 - 1 (第1回一次)	高2 - 2 (第3回二次-2) (第3回一次-1)	中3 - 7 中2 - 1	中3 - 7 中2 - 6	中2 - 4 中1 - 1 小6 - 1 小5 - 2	小6 - 1 小4 - 3	高校生 - 3名 中学生 - 26名 小学生 - 7名 36名
2015 H27		高3 - 1 高2 - 2 高1 - 2	高1 - 1 中3 - 3	中3 - 3 中2 - 9 中1 - 1	中2 - 6  小6 - 3 小5 - 2	小6 - 1 小5 - 1 小4 - 1	高校生 - 6名 中学生 - 22名 小学生 - 8名 36名
2014 H26			中3 - 3	中3 - 10 中2 - 11	中2 - 1 中1 - 2 小6 - 1	小6 - 2 小5 - 3 小4 - 4	中学生 - 27名 小学生 - 10名 37名
2013 H25		中3 - 1	中3 - 4 中2 - 1	中3 - 10 中2 - 3	中2 - 8	小6 - 2 小5 - 3 小4 - 1	中学生 - 27名 小学生 - 6名 33名
2012 H24	高3 - 1	高3 - 3 高2 - 2	高3 - 1 中3 - 11 中2 - 1	中3 - 5 中2 - 6 中1 - 1	中2 - 1 中1 - 11	中1 - 2	高校生 - 7名 中学生 - 38名 45名
2011 H23		高2 - 2	中3 - 4	中3 - 3 中2 - 12 中1 - 1	中2 - 6 中1 - 11	中1 - 2	高校生 - 2名 中学生 - 39名 41名



<1年>



<1年>



<1年>



<1年>



<1年>



<1年>

# 「検定」受検体験記

服部 哲

内藤アカデミーでは英語教育に力を入れており、英検クラスや対策授業を実施しています。また、算検・数検については、団体受検会場に認定されており、こちらに対策授業やプリント演習を実施しています。私も、数検の準2級(高1相当)や3級(中3相当)の対策授業を、中学生を対象に行っております。

さて、教える側に立つ一方で、子どもたちが英検・算検にチャレンジする姿を見て、「楽しそうだなあ」という気持ちが大きくなってしまい、私自身、英検、数検、および漢検に挑戦してきました。結果、2019年4月に数検準1級に合格、2020年8月に英検準1級に合格、2020年10月に漢検準1級に合格しました。私の専門である数検は1回で合格できましたが、英検は2回目で(1回目は2次に進めず)、漢検は3回受検してやっと合格しました。今回はこれらの検定受検を経験して思ったことを書かせていただきます。

## ① 困難に打ち克って

何か目標を決めたら、途中の困難に打ち克って、目標に向かって努力をする。このことが、今回の経験から、まず生徒たちに言いたいことです。アカデミーの中・高生の授業は夜10時に終了します。私の検定のための勉強は、帰宅後夜11時から1時ぐらいに行いました。何かを食べてしまうと、もう眠くなって

しまいますから、何も食べないで、したがって空腹に耐えて、勉強をしました。

保護者の皆さまも、困難に打ち克って努力をするという経験は、何度もされてきたことと思います。学童の子どもたちにとっては、そのような経験は「これから」だと思います。しかし、たとえば、続けてきた習い事が、モチベーションが途切れそうになり、「やめたい」と相談してくることがあるかもしれません。そのようなときに、「打ち克つ」ためにもうひと踏ん張りするか否か、よく話し合ってください。

## ② 鉄は熱いうちに打て

とにかく若いうちに、どんどん勉強をしてほしい。各検定の会場において、まわりの受検者を見わたすと、決して私が「最長老」ではありません。私よりご年配で挑戦されている方が散見され、敬服する次第です。とはいえ、やはり、若いうちにどんどん勉強して、検定や資格試験や、さらには外国留学に挑戦すべきです。数検準1級のときは1級と同室だったのですが、1級受検者はみな大学生ぐらいで、私の目には「エリート」に見える人ばかりでした。英検の2次試験のときは、まわりの半分ぐらいは高校生でした。しかし、面接を待つあいだ、試験室の外の廊下で耳をすましていると、先に面接を受けている高校生たちのほうが、私よりもスピーキング能力が上のように感じました。高校生で英検準1級に受ければ、大学に入って「就活までに1級」という良い目標ができます。すると、「国際舞台で活躍したい」という考えも同時に持つはずです。



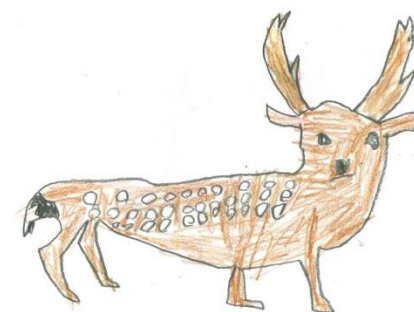
<1年>



<1年>



<1年>



<1年>



<1年>



<1年>